

こんな学校があってもいいかも（既存の教育にとられない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを掲げて、10年前に開設されました。

感動と学びの日々

校長 渡辺 正彦

私のような生来落第傾向の人間は、歳を重ねると以前に増して、易きを求め平穩に走りがちですが、小さな私塾（現代版フリースクール）の校長などをしてしていると墜落や平穩に至る前に「感動」と「学び」が目白押しに迫ってきます。日々の「感動」や「学び」は老いて退化しつつある感性を蘇らせてくれるようでなんと有り難いことでしょうか。

<感動その1>

ボランティア大学院生のA子さんが体調不良で道端にしゃがみ込んでいるとの連絡を通行人から受けてかけつけ、直ぐに病院に搬送する。彼女は北海道から上京し、一人でアパート暮らしをしながら公認心理師を目指している。片道1時間半の電車を乗り継いで交通費自弁の無給ボランティアで子ども支援に来てくれている。

病院での数種類の検査の結果は異常なしの経過観察でしたが、あいにく保険証を携帯しておらず診療請求は4万円近くの超高額。なんとか工面したがその時、彼女の財布には2,000円が入っているのを知る。きっと帰りの電車代と夕食代をここから支払ってのひまわりボランティアだったのかと知った時、なんとなく切なさ彼女の生き方の素晴らしさに思わず涙しました。

<感動その2>

区内の小学校の教職員研修に講演を頼まれて、農作業のジャージを背広に着替えて出向く。引き出しの少ないありきたりの講演をして、校長室に招かれる。そこには歴代校長の写真が掲示されていた。その中になんと親友校長のMの写真があった。ほほ笑む彼の顔からは、最後に別れを告げたあの棺の中の無念を私に訴える顔とは別人のようだった。職務半ばにして逝くことはどんなに心残りだったろうか。夜、彼の文集「春風の優しさで」（子どもに人に接する）を読む。生を与えられている間にできる限りのことをしようと思った。人間臭く。人間臭く。

<学び>

朝、鶏の世話をしている子どもと束の間の会話をする。鶏小屋での彼女との会話はいつもしていたがそれは半ば挨拶代わりの儀礼的なものでもあった。「頑張っているね」「えらいね」「鶏こわくない」などと。彼女との会話の奥に私の価値観が大きく存在していたことに今日、気づく。「学校に行かなくてこんなことをしていても良いのか」、「鶏を抱くとダニがつくんだ」などの自分の潜在的な価値観の上にたった子どもとの接し方に。

今日は無性に鶏の世話をする彼女の心が見えてきた。学校での彼女を取り巻く出来事が、家庭の様子が。何よりも鶏を無性に鶏を愛しむ彼女の心が。

小さな私塾には、心を揺るがす日常が存在します。日々の感動や学びは老いに立ちほだかり、更なる人間理解の感性へと導いてくれるようです。一緒に子ども支援をしませんか、子ども支援は自分支援です。

ひまわり活動の模索と新たな展開

学校で苦戦する子ども達の支援を目的に設立された「横浜みどりの学校ひまわり」は、設立10年を経過して活動の輪が広がり、厚みを増しております。ひまわりでは悩める子ども達に対してあらゆる角度からの支援を試みており、その模索は今日も続いております。

ひまわりの活動	内容
居場所提供活動	不登校に伴うひきこもりの防止・解消など
学習指導活動	不登校などへの学習支援を通しての学力保障・学校復帰
社会性構築活動	小集団の異学年活動を通してのソーシャルスキルの定着
カウンセリング活動	複数の公認心理師、臨床心理士などによる相談援助
ふれあいレストラン	フードバンク提供の食材を活用してのひまわりの子ども食堂

新たな活動	内容
専門部会制度	ボランティア、保護者など全てのひまわり関係者が学習・心理・鍼灸・ヨガ・環境など9の部会に所属して、各部会から子ども支援を実施します。鍼灸・マッサージ施術は国家資格を有するプロの施術者が希望する子どもへの施術を計画しています。
ひまわり子ども支援財団	経済的に困窮する子どもとその家庭への支援をすることを主な目的に設立されます。
通信制支援活動	ひまわりオンライン部を設立して、オンラインで非通学の子ども支援を行います。

<活動報告と予定>

- ◇ひまわりふれあいレストラン（ひまわり版子ども食堂）・・・11月20日（終了）、12月18日（予定）
- ◇学習指導部ホットタイム・・・11月18日（終了）/12月23日、1月22日（予定）
- ◇鍼灸・アロマ・ヨガ部会・・・12月25日 『自分のホッとするをさがそう ①香り袋づくり』
- ◇心理部会 推薦図書を紹介・・・ふれあい11月号にて

ボランティアの先生をご紹介します vol. 8

鈴木 海斗先生

先生は去年大学を卒業したばかりの、まだフレッシュマンです。某県の公立学校教員試験に見事合格して、来年度から中学の先生としてひまわりを巣立っていく予定です。専門は歴史です。保土ヶ谷区から週3回のボランティア活動に参加する先生は若さと穏やかさを兼ね備えており、子どもは勿論、同僚ボランティアの高校生からも兄貴のように慕われております。教員になっても、ひまわりでの子ども支援の経験を生かして子どもに寄り添う素晴らしい先生になることでしょう。
頑張り！鈴木先生。

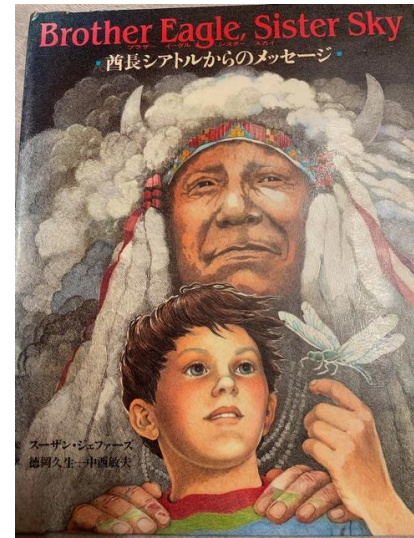
今月のおすすめの本□

『 Brother Eagle Sister Sky (鷲は私たち人間の兄弟、空は私たち人間の姉妹) 』

～ 酋長シアトルからのメッセージ～

JULA 出版局

「空が金で買えるだろうか？」と酋長シアトルは話し始めた。
「雨や風をひとりじめできるだろうか？」母は私にこんな話をした。
この大地にあるものはみな、私たちにとって神聖です。松の葉。
砂浜。暗い森に立ち込める霧。草地も、羽音をたてて飛んでいる
虫たちも。みんな、私たち一族の思い出のなかに、神聖なもの
としてあるのですよ。…わたしらは大地の一部だし、大地は
私たちの一部なのだ。いいにおいのするあの花たちは、
私たちの姉妹だ。…」



これは、1850年頃にアメリカ北西部のインディアンの一部族の
酋長だったシアトルの言葉の一部です。

19世紀・20世紀にアメリカインディアン（今日ではアメリカ先住民＝ネイティブアメリカンと呼ばれていま
す。）の文化は「遅れた野蛮人」の文化という扱いを受け続けてきました。でも、果たしてどちらが野蛮人だ
ったのでしょうか？私はこの本を読んで、ヨーロッパから移住してきた人々の方が野蛮人だと思いました。

※アメリカインディアンは大地を所有しません。保有（借りている）と考えます。大地は人間が売ったり買っ
たりできるものとは考えません。

この本は、資源の枯渇や環境破壊を招いた20世紀の大量生産・大量消費文明とは違う価値観を持った
人々の考え方・価値観を教えてください。

「私たちは大地の一部であり、いろいろなものにつながっている」

酋長シアトルの言葉が、コロナ禍の今、心に沁みます。ぜひ、読んでみてください。

～心理部会 大家先生よりご推薦いただきました～

ひまわり子供支援財団設立

経済的な困窮状況の子どもとその家族を救済する目的で「ひまわり子供支援財団」を設立することになりました。ひまわり自体が多くの皆様に支えられている中での設立ですが、子どもの経済的貧困に目を背けることができずの設立です。基金は僅か 20 万円での設立ですが、少しでも皆様のお役にたてばと思います。今後は、経済面に加えて、法律・医療・心理・教育など多方面からの子どもと家庭の支援に取り組む予定です。皆さま方のご理解とご支援援助をお待ち申し上げます。

※子育てや教育が経済的に困難にある方はご相談ください。

ひまわりオンライン部を設立します

不登校の子どもへの初期的な対応や遠隔地の子ども対応、心理的・身体的な事情でひまわり通学が困難な子どもに対して主にオンラインで支援活動を行うことを目的に「ひまわりオンライン部」の設立を来年4月を目途に準備します。活動は主にIT機器などを活用したオンラインで行う他に、通学、訪問などの形態での子ども支援を視野に準備を進めてまいります。なお、ひまわりの現在の遠距離通学者は藤沢市、八王子市、横浜市金沢区・戸塚区などです。

ひまわりの様子

今月のふれあいレストランのメニュー： ☆カレーうどん

☆ひまわり産サツマイモとフルーツお汁粉

美味しかったです！



学習部会による【ホットタイム】第1回目開催！！

ひまわりに登校した子ども達は、ひとりひとり、あるいは少数で過ごすことが多いですが、昼食後 15 分程度全員が先生の周りに集まって話を聞き、手を動かし、びっくりしたり何でだろう？と考える時間をつくりたいと考えています。第一回目は 11 月 18 日（木）に開催しました。テーマは牧先生による「メビウスの輪」。一本のテープを輪っかにして真ん中を切っていくと・・・輪っかが 2 つできました！子ども達はびっくり不思議な体験ができました。今後は月 1 回のペースで開催予定です。ぜひ、みなさんご参加ください♪



ひまわり女子でトランプ♪

ひまわり農園だより

- ・ハヤトウリ 100 個、秋晴れのさわやかな土曜日の午後、子ども達と収穫をしました。今年もハヤトウリの出来が好調です。
- ・隣接農家からいただいたイチゴ苗 80 本を子どもと大人で定植しました。作業した子ども達には、来春まっ赤なイチゴがプレゼントされます。
- ・足をケガしていた鶏も担当者の熱心な治療のかいがあり、元気になりました。鶏は現在 20 羽が 5 つの鶏舎で元気に暮らしています。
- ・陸ガメのチャップル君は冬に向けて保温設備のある陸ガメハウスに引っ越しました。

★ご質問・見学ご希望の方は、渡辺（090-9201-3992）までお気軽にお問い合わせください。

最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/>、と Facebook にてアップデートしています。